

製品名: リボソームタンパク質 S5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17188**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	22kDa

抗原情報

遺伝子名	RPS5
別名	RPS5; 40S ribosomal protein S5
遺伝子 ID	6193.0
SwissProt ID	P46782
免疫原	リボソームタンパク質 S5 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 60-140

背景

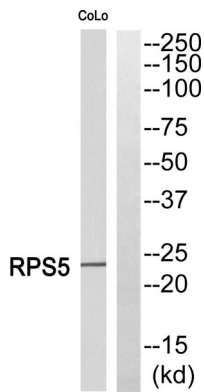
タンパク質合成を触媒する細胞小器官であるリボソームは、小さな 40S サブユニットと大きな 60S サブユニットから構成されています。これらのサブユニットは、4種類の RNA と約 80種類の構造的に異なるタンパク質で構成されています。この遺伝子は、40S サ

プユニットを構成するリボソームタンパク質をコードしています。このタンパク質は、リボソームタンパク質の S7P ファミリーに属し、細胞質に局在しています。大腸がんでは、この遺伝子の発現レベルが周囲の正常組織と比較して変動することが観察されていますが、発現レベルと疾患の重症度間に相関関係は認められていません。リボソームタンパク質をコードする遺伝子に典型的にみられる通り、この遺伝子には複数の処理済み偽遺伝子がゲノム中に散在しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、類似性: リボソームタンパク質 S7P ファミリーに属します。、

研究分野

リボソーム;

画像データ



RPS5 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは RPS5 ペプチドでブロッキングされている。